

宮城県伊具高等学校PTA会報
 No.107 '23.9.28
 宮城県伊具高等学校PTA
 伊具郡丸森町字雁歌51
 TEL.0224-72-2020
 URL <http://igu.myswan.ed.jp/>

'23-1

総合学科第25期生 入学おめでとう!



入学式



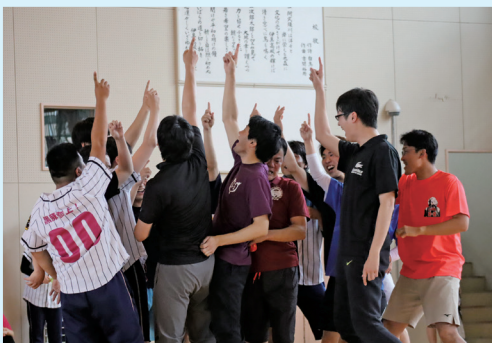
対面式



仙南総体壮行会



避難訓練



体育祭



令和5年度PTA役員紹介

Table with 3 columns: 役職名 (Position), 氏名 (Name), 備考 (Remarks). Lists PTA members including 会長 (President), 副会長 (Vice President), 幹事 (Executive Committee), and various committee members.

ご挨拶



PTA会長 伊具 明孝一

本年度PTA会長を務めさせて頂きます伊具明孝一と申します。昨年度、役員の方々が精力的に活動された様に、本年度も皆様の御協力を頂きしつかり活動して行きたいと思っております。本年度でPTA会長二年目になります。まだまだ至らぬ点が多いと思いません。皆様のご意見、御指導の下、微力ながらこの会長という役割を果たす事が出来まます様、誠心誠意努力して行きたいと思致します。是非これから宜しく、お願い致します。

本年度がスタートし、新入生を迎え、仙南及び県総体では各部署が活躍してくれました。三年生はこれから「一人一人の希望進路一〇〇%達成」という学校の目標にもあるように各自、自分の将来へ向けて前進して行つてほしいです。秋には伊具高祭も行います。生徒達やPTA活動の様子を是非多くの方々に目に御来校いただければと思っております。今年度はコロナ感染拡大防止も緩和されPTA活動も徐々に戻つてきておりますし、八月には全国高校PTA連合会大会が宮城県で開催されました。最後に、伊具高も一〇三年目の新たな歴史を刻み始めました。先生方、保護者の皆様と共に少しでも子供たちが安心して学校生活が送れる様ご協力をお願い申し上げます。

連携



校長 齋藤 隆

令和5年度も半年が経過しました。日頃からPTA会員の皆様方には本校の教育活動にご理解とご協力を賜りまして、心より感謝申し上げます。昨年度までの3年間は新型コロナウイルス感染症による行動制限があり、伸び伸びと学校生活を送ることができず、様々な行事等で感染対策を徹底しながら実施してきました。今年度は感染者数も徐々に落ち着きを見せ、5月から感染症分類が第5類に変更されたこともあり、すべての学校行事等が新型コロナウイルス発生以前に戻りつつあります。さて、今年度は新入生54名を迎え入れ、全校生徒158名で学校生活をスタートいたしました。各種行事や高体連・高文連の大会も入場制限や応援規制がなくなり、5月には仙南地区総体、6月には県総体が開催され、運動部の生徒たちが日々の練習の成果を十分に発揮してきています。また、前期行事での最大イベントである体育祭も無事終了し、3年生にとつて高校生活の素晴らしい思い出がまた一つ増えたことと思います。学習面では、昨年度同様地域との連携を教育活動の重点目標に据え、「大張沢尻の棚田づくり」、「角田支援学校との植栽作業」、「地域のごみステーション作成」、「子供用消毒スタンプ作成」、「防災プロジェクト」での段階

た、前期行事での最大イベントである体育祭も無事終了し、3年生にとつて高校生活の素晴らしい思い出がまた一つ増えたことと思います。学習面では、昨年度同様地域との連携を教育活動の重点目標に据え、「大張沢尻の棚田づくり」、「角田支援学校との植栽作業」、「地域のごみステーション作成」、「子供用消毒スタンプ作成」、「防災プロジェクト」での段階

ルベッド・テント設置」、「齋理幻夜への運営協力」など他にも様々な連携を実施しています。企業の方々の指導を直接受ける授業など、卒業後の進路をしっかりと見据えた専門高校ならではの取組も地域の方々の協力を得て体験させてもらっております。本校が地域の人材育成に力をつけてはならない学校として、これからも多くの方々にご協力をいただきながら取組を進めて参りたいと考えております。

今年度、PTA活動では、「第72回全国高等学校PTA連合会宮城大会」が8月24日(分科会)、25日(全体会)に開催され、県内高等学校のPTA会員の皆様に多くの場面にてご協力をいただきました。大会テーマは「豊かな杜につぐむ虹の光」しなやかな強さで生き抜く力」と題し、全国から約8,000人の高等学校PTA関係者の方々が仙台に集結しました。この大会は毎年、各都道府県での持ち回り開催となっており、今年度の宮城大会開催に当たり5年前から計画を立て、準備を進めてきました。宮城県内6地区のPTAがそれぞれ分かれて分科会を担当し、計画から運営までのすべてを任せてきました。本校が今年度仙南支部PTA事務局校であることから、PTA役員の皆様には例年のPTA活動に加えて、全国大会の運営にまでご協力をいただいたことに大変感謝しております。特に、PTA会長の伊具明孝一様には第3分科会の運営委員長として、幾度も会議に参加していただき、大会当日は分科会の運営責任者、全体会の副委員長としての重責を担っていただけたいことに改めてお礼申し上げます。



令和5年度教職員一同 どうぞよろしくお願ひします。



清野英俊 農業 2-1 正担 美術	佐藤 連 工業 2-2 正担 ソフトテニス・電気機械	菅野正春 農業 1年次所属 卓球	小川 拓 工業 3年次所属 電気機械	箕苜真紀 農業 2年次所属 科学・バレー	林 友和 教務補助員	佐藤孝次 地学地就 コーディネーター	土居恒男 技師 (庁務)	藤澤 隆 主幹 (事務次長)
----------------------------	-------------------------------------	---------------------------	-----------------------------	-------------------------------	---------------	--------------------------	--------------------	----------------------

1年次 黄
2年次 桃
3年次 青
事務部 緑

清水康宏 社会 3-3 正担 吹奏楽	森本功樹 理科 3-1 正担 科学・写真	佐藤 響 工業 2-1 副担 陸上競技・電気機械	今野寛之 国語 1-3 正担 バスケット・書道	関野良晃 数学 1-1 副担 バレー	鈴木修平 労務職員 (農場)	小林雄一 英語 1-2 副担 バドミントン	櫻井光一 実習助手 2年次所属 弓道・写真	菅原翔平 保健体育 3-2 副担 バレー	幕田準也 保健体育 2-3 正担 バスケット
-----------------------------	-------------------------------	-----------------------------------	----------------------------------	-----------------------------	----------------------	--------------------------------	--------------------------------	-------------------------------	---------------------------------

藤原弓子 英語 3-2 正担 弓道	高橋彩絵 国語 1-2 正担 書道・バドミントン	武山侑加 家庭 1-1 正担	小野友佳 商業 1年次所属	本間七虹 福祉 1-3 副担 柔道・空手愛好会	阿部幸子 養護 2年次所属	三浦玲美 商業 3-3 副担 陸上競技・コンピュータ	澁谷理子 家庭 3-1 副担 バレー	荒 茂美 学校生活 適応支援員	鈴木悦子 商業 2-3 副担 ソフトテニス	鷲尾静香 主査 (学校司書)	對馬実穂 主事
----------------------------	-----------------------------------	----------------------	---------------------	----------------------------------	---------------------	-------------------------------------	-----------------------------	-----------------------	--------------------------------	----------------------	------------

岩城幸喜 農業 1年次所属 柔道	葛原妙子 社会 3年次所属 美術	持田敦子 芸術 2-2 副担 吹奏楽	熊谷 郁 理科 2年次所属 バドミントン	佐伯英樹 事務室長	齋藤 隆 数学 校長	吉田博幸 理科 教頭	橋浦 勉 農業 主幹教諭 野球・水泳	河邑佳彦 工業 1年次所属 野球・水泳	三部佐貴子 家庭 3年次主任 茶華手芸・剣道	小笠原由也 工業 2年次主任 空手愛好会	仙波正弘 数学 1年次主任
---------------------------	---------------------------	-----------------------------	-------------------------------	--------------	------------------	------------------	-----------------------------	------------------------------	---------------------------------	-------------------------------	---------------------

一年次各クラス担任より

伊具高校に入学して早くも四か月が経ちました。入学式当日、黒板に「新たな仲間とともに充実した伊具高生活にしていきましょう！」と書きました。みなさんは、充実した伊具高生活のスタートダッシュを決めることができましたか？充実させるには、目的や目標が必要だと私は思っています。そんな私も高校生の頃は目標を持たず、なんとなく過ぎてしまいました。今ではすぐ後悔しています。楽しいことはもちろんですが、充実させるためには面倒に感じることや努力を要することに取り組むことも大切だと思っています。

さて、入学当初は緊張している様子も見られた一組ですが、今では皆元気がよく、私の方が毎日活力をもらっています。一方で、なかなか目標がもてなかったり、熱中した経験があまりないと話す人が多いことも印象として残っています。まだ高校生活は始まったばかり、何か目標をみつめて取り組んでみませんか？大変な時、困った時は、新たにできた仲間とともに乗り越えていきましょう。伊具高生活も残り二年と八か月、一人一人が充実した伊具高生活を送ることができますように！

「充実した伊具高生活を！」



一年一組担任 武山 侑加



〈1-1〉



〈1-2〉

「笑門来福」

一年二組担任 高橋 彩絵

世間には「笑う門には福来たる」という言葉がありますが、自分だけが笑うのではなく周りの人も笑顔にして、みんな笑顔で過ごすことができれば素敵ですね。福は幸運など思いがけない良いことを指しますが、思いがけない良いことというものは相応しい人に訪れると思います。また、「運も実力のうち」という言葉もありますが、目に見えない幸運も味方につけ、こぞという時に力を借りられたらこれほど心強いことはないでしょう。

さて、一年二組のみなさんは穏やかで心優しく、思いやりと節度を持って生活しています。集中して学習に取り組んでいる姿、何かある時に進んで力を貸してくれる姿、様々な場面で本当に素晴らしい有り難いなと思う日々です。私が毎日笑顔で過ごせているのは一年二組のみなさんのおかげです。先に世間で言われている言葉を述べましたが、周りの人を笑顔にしているみなさんには、この言葉が合うと思っております。これからの多くの時間を笑顔で過ごし、たくさん良いことがありますように、また良いことが起こるに相応しい人で在り続けてくれますように、願っています。



「最初から 上手くいくななんて 誰もいない」

一年三組担任 今野 寛之

タイトルは私が教員の仕事を始めた頃、お世話になった先生がよく仰っていた言葉です。もちろん「上手くいかなから適当にやれ」という意味ではなく、一つは上手くいかなからこそ虚勢を張らず背伸びをせず、謙虚にひたむきに振る舞うとともに、自分の力量を正しくはかり、足りない部分は素直に助けを乞うことの大切さを示しています。

この言葉はもう一つ「上手くいかなからしたこと」から学んでいくことの重要性を示しています。昨今は「コスパ」「タイパ」など効率が重視される、言い換えれば無駄や失敗に対して厳しい評価がなされる時代ですが、それらは自分の心がけ次第で素晴らしい財産へと変わります。

私がこれまで働いていた北海道と宮城の学校とでは何もかもが大きく異なっており、そのためこの数か月間、様々な戸惑いがあり、多くの上手くいかなることや失敗がありました。三組の生徒を含む多くの方々から力を貸してくださいとおかげでここまでやっていくことができました。この場をお借りして心より感謝を申し上げますとともに、改めて冒頭の言葉の意味を振り返り、学校生活に勤しんでいきたいと思えます。



〈1-3〉

育 祭



2-1 



1-1



2-2



1-2



2-3



1-3





体

3-3



3-1 



🏆 体育祭総合順位 🏆

第1位	3年2組
第2位	3年1組
第3位	2年1組

第4位	3年3組	第7位	1年2組
第5位	2年2組	第8位	1年3組
第6位	2年3組	第9位	1年1組

3-2 



体育祭を振り返って

三年二組 芳賀 愛花

伊具高校の一大イベントである体育祭を六月二十九・三十日に実行することができました。今年の体育祭は女子の人数が少なく、男女別の種目や男女合同の種目、学年対抗の種目など合わせて八種類の競技を二日間かけてやりました。他校と比べて多くの種目を全員が参加できるのは伊具高校の体育祭の良い点だと思います。私は今年、体育祭実行委員長として活動し、沢山の思い出を作ることができました。体育祭前日は、同じ体育祭実行委員である吉江さんと商品のお菓子を買いに行きました。どれくらいの量、どんな種類にするか二人で悩みながら決めました。大きなレジ袋四つ分のお菓子を学校まで運ぶのは大変でしたが、一つの思い出になりました。時間のかかる会場準備では、全校生徒が協力してくれました。約四十分程で終えることができました。会場準備の時から全員の気持ちが体育祭に向いていたのではないかと思います。私が参加した競技の中で強く印象に残っているのは、バスケットボールと女子学年対抗ドッチビーです。同じクラスの女の子達と「最後の体育祭、絶対バスケットは優勝しよう」と私達三年二組の心はもえていました。初戦から決勝戦まで激戦をくり広げ、三年二組が優勝することができました。ドッチビーでは陣を組み気合を入れ、戦いました。二年生とは延長戦の末、三年生が勝ち、優勝することができました。今年が最後の体育祭だった三年生は全員が全力を出せたと思います。体育祭を終えてクラスの仲がより深まったと感じています。体育祭実行委員長をやる決めた時、私は緊張や不安でいっぱいでしたが、体育祭が終わった後のみんなのやりきった表情や笑顔を見て、やって良かったと心から思っていました。来年の体育祭は後輩達が盛り上げてくれることに期待しています。最後の体育祭で三年二組が総合優勝できて本当に良かったです。伊具高最高！

新任教員あいさつ

佐藤 響 (工業)



今年度、四月より新規採用で伊具高等学校に赴任しました。機械系列の佐藤響と申します。

昨年度までは仙台市立仙台工業高等学校の機械科で一年間講師をしておりました。いままで県北地域で過ごしてきたため、県南地域で生活するのは初めてになります。ですが、私の地元である南三陸町と同じように自然豊かな環境であるため、地元の懐かしさを思い出しながら日々の生活を過ごしています。話が変わりますが皆さんは心に残っている言葉はあるでしょうか。私は恩師からいただいた「あせらず、ゆつくり」という言葉があります。この言葉は小学校卒業式の時にいただいた言葉になります。当時の私にはこの言葉の意味も何故この言葉が贈られたのかも分かりませんでした。今考えてみると「何事にも焦らず冷静に取り組み、ゆとりをもった行動が出来るようする」と言う意味が込められているのではなにかと考えています。今はまだ初任ということもあり、覚えることが多く忙しい毎日を通してあります。ですが、この恩師から送られた言葉のようにあせらずゆつくりではあります。確実に職務に取り組めるよう頑張っていこうと考えています。

伊具高校での勤務は、去年とは違っ

た気づきが多く日々学びながら過ごしています。沢山の気づきから学べたこと、そして、恩師からいただいた言葉を大事にしながら生徒と一緒に成長していきたいと思えます。一生懸命取り組んでいきますのでどうぞよろしくお願います。

櫻井 光一 (実習助手)



四月から新規採用で伊具高校に実習助手として赴任して参りました。櫻井光一と申します。

出身地は七ヶ宿町で同じ県南エリアとは思えない夏の暑さに驚いています。今年の夏は特に暑いようですが、私が経験した一番暑くない夏の話をしたいと思えます。

今から十二年前、私は北欧のデンマークという国で一年ほど農家にホームステイしていました。牧場の仕事を手伝っていたある日、農場のトラクターに乗って一枚八十ha程の牧草地に仕事をしに行つたときのことです、牧草地の真ん中に一人っていると地球上にいるのは自分だけなのではないかと思ひ、帰り道がわからなくなりました。周りに誰も知っていない人がいない状況もあり、何とも言いがたい不思議な気持ちになりました。デンマークの気候ですが、北海道よりも高緯度に位置するため、夏でも長袖で過ごせます。夏は夜遅くまで明るるのでカーテンを閉めて寝なければなりません。反対に冬は暗くす

ごく寒いですが：すごく希にですがオーロラも観測できるときがありました。

まだまだ暑い日が続きますが、丸森の春夏秋冬を楽しみながら日々の学校生活を送って行きたいと思えます。未熟者ですが、生徒たちと一緒に成長して行きたいと思えますので、どうぞよろしくお願います。

鈴木 修平 (農場)



今年の四月より新規採用で伊具高等学校に配属となりました鈴木修平と申します。

昨年度までは宮城県の農業研究機関で試験研究のサポート業務をしながら、農業技術について学んできました。業務としては農場技師として学校の田畑やビニールハウスなどの栽培施設の維持管理や生産物の管理、生徒の実習のサポートなどを行っています。

生徒とともに実習に励む中で様々な発見や気づきなどがありとても面白く感じるほか、自宅での家庭菜園に生かせる内容も多々とも勉強になっています。

学校での勤務は初めてなので慣れないことが多いですが、農業系列の先生方や周りの先生方に助けていただきながら業務に励んでいます。

様々な職場での経験や学んだ技術を生かし、生徒や伊具高校のために頑張れるよう日々努力していきたいと思えます。

編集後記

二年次広報委員長 門馬 明子

今年度を迎えて、早くも半年が過ぎました。改めまして、新入生の皆さんご入学おめでとうございます。日々充実していることと思います。並びに在校生の皆さん、進級おめでとうございます。引き続き学生生活を謳歌されていることと思います。

新型コロナウイルス感染症も第五類に分類され、少しづつ以前の生活に戻りつつあるのではないのでしょうか。今までの生活が如何に平穏だったのか、痛感する次第です。しかしながら、年々暑さを増す今日この頃、酷暑、激暑、大暑、炎熱、向暑、昨今の暑さを表す言葉は果たしてどれが相応しいのでしょうか。暑さ寒さも彼岸まで、となります。暑さ寒さも彼岸まで、となく続きます。暑さ、熱中症に気を付けて皆様ご自愛下さい。

「GKIKO 107号」発行にあたり、沢山の方にご協力頂きました。また先生方におかれましては常日頃より生徒の為に尽力を頂き感謝申し上げます。保護者の皆様におかれましては、今後のPTA活動に際し、更なるご協力の程宜しくお願致します。

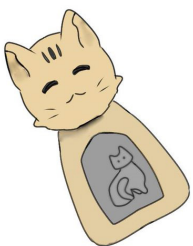


イラスト:3年 酒井涼